

◎補助事業番号 20-143

◎補助事業名 平成20年度素形材産業の高度化推進補助事業

◎補助事業者名 財団法人 素形材センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

素形材産業に従事する人材の育成を図るため、実践的な研修及びセミナーの開催並びに技術水準向上に貢献した素形材技術等の調査・公表を行うことによって、素形材産業の発展を図り、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 具体的な実施内容・成果

A. 実施内容

[1] 素形材関連情報収集等発信事業

<1> 素形材関連情報発信事業

素形材企業の受注型経営から提案型企業への転換及び素形材関連の経営支援、また、新素形材技術の確立、素形材加工技術の高度化等技術開発の促進を目的に、素形材産業に関連する各業界の業況や国内外の最新の技術・経営情報を収集し、素形材産業の技術者、経営者に適宜情報を提供した。

<2> 素形材産業優秀技術等調査

素形材産業にあつて優秀な素形材に係る技術の開発等により、我が国素形材技術の技術水準等の進歩向上に著しく貢献した技術と開発者及び工場内外の作業環境、周辺環境等の環境を整備し、あるいは地球環境保全に配慮した対策を講じ、具体的な効果をあげた工場について、書類審査、現地調査を実施し、その成果を報告書に取りまとめた

[2] 素形材研修セミナー事業

1) 鑄造技術研修講座

主として素形材企業の現場経験3～5年程度の技術者や技能者を対象に、正しい理論に裏付けられた技術を身につけ、工場の諸問題に的確に対応できるとともに現場をリードできる技術者を育成するための鑄造技術研修を実施した。

研修は、平成20年7月から平成21年3月に至る間に2～5日間の講座を延べ37日間、222時間にわたって、東京都6回、名古屋1回、大阪1回、神戸1回及び広島2回の計11回開催した。

2) 素形材技術セミナー

素形材産業に携わる中堅以上の技術者を対象として、最近各業界で話題となっているテーマについて、数名の講師によるプレゼンテーションで構成する素形材技術セミナーを6回開催した。開催日、テーマは次のとおりである。

	開催日	テーマ
平成20年	6月16日	ダイカストの鑄造欠陥・不良の発生原因と対策の勘所パートⅢ
	8月22日	諸外国に負けない鑄造技術を向上させる人材育成
	9月19日	ダイカスト・軽合金鑄物のこれから進むべき方向性を探る
	10月15日	鑄造欠陥を正しくとらえる解析・測定機器
平成21年	1月30日	徹底追及 ―ダイカストの生産性向上―
	3月19日	鑄鉄鑄造欠陥現象における真の原因追求とその対策

3) 素形材経営セミナー

素形材企業経営に携わる関係者及び関連企業の海外担当者を対象に、アジア域内の貿易拡大、関税引下げ等によるアジア経済圏形成が本格化するアジアへの素形材企業の進出の可能性と課題等の情報提供を目的に、素形材経営セミナーを1回開催した。なお、年度後半から米国発の金融危機の影響から素形材需要最大手である自動車産業の経営が悪化し素形材企業にも及ぶ状況から、その後の経営セミナーの開催は見送ることとした。

	開催日	テーマ
平成20年	9月29日	経営セミナー「中国自動車部品市場と素形材のあり方 ―素形材企業進出の可能性と課題―アジア経済の発展と素形材産業の役割―アジア経済圏形成の流れと工業化に向けた共生への取り組み―」

B. 成果

[1] 素形材関連情報収集等発信事業

<1> 素形材関連情報発信事業

素形材産業に関連する各業界の業況や、国内外の最新の技術及び経営状況に関する情報を収集するとともに、適宜素形材産業の技術者、経営者等に提供した。

<2> 素形材産業優秀技術等調査

優れた素形材技術の開発、実用化により我が国素形材産業の技術水準の向上等に貢献した技術開発者及び工場内外の作業環境、周辺環境等の環境を整備し、あるいは地球環境保全に配慮した対策を講じ、具体的な効果をあげた工場を広く公表することによって、社員の士気の向上と素形材産業の活性化に大いに寄与したものである。

[2] 素形材研修セミナー事業

鑄物生産現場の第一線に携わる技術者等を対象とする実践的な鑄造技術研修講座は378名、中堅技術者等に素形材技術の最新技術動向に係る情報を提供した素形材技術セミナーは433名の参加者があり、ともに次代の素形材技術の発展を担う人材の育成に貢献した。また、素形材経営セミナーは、190名の経営者等の経営者等の参加があり、素形材産業の国際化及び企業経営に寄与することが期待される。

2. 機械工業等において予想される事業実施効果

[1] 素形材関連情報収集等発信事業

<1> 素形材関連情報発信事業

素形材産業の製造技術、素形材加工技術等の最新技術動向や経営に関する各種情報を収集し、国際競争に晒される素形材産業の技術者及び経営者等に対して最新の情報提供ができたことは、機械産業の基盤である素形材業界ばかりでなく、広く機械工業の振興発展に貢献することが期待される。

<2> 素形材産業優秀技術等調査

素形材技術の水準の進歩向上に著しく貢献した優秀な素形材産業技術と技術開発者及び工場内外の作業環境、周辺環境等の環境を整備し、あるいは地球環境保全に配慮した対策を講じ、具体的な効果をあげた工場を広く公表することにより社員のモチベーションを高めるとともに素形材産業の活性化が図られる。

[2] 素形材研修セミナー事業

素形材のユーザである需要家の海外展開による空洞化や海外調達等素形材業界の環境は非常に厳しい中であって、理論に裏付けられ、また素形材の需要家からの多様化するニーズに対応できる生産技術者の育成のために実施した実践的な研修は、素形材技術の継承・発展に大きく寄与するものと期待される。

また、素形材産業における先端技術等に係る素形材技術セミナーを多数の参加者を得て実施したことは、各講義とも最新技術動向の現状、課題、可能性等について詳細な説明が行われたことから、素形材技術の中堅技術者のレベルアップ、育成に貢献すると考えられる。

素形材経営セミナーで、経営資源の乏しい中小素形材企業に、海外進出や海外企業との取引が必至になる状況のもとで、グローバル化する素形材需要産業の動向を踏まえた海外展開の情報を提供したことは、素形材業界の国際化、および素形材企業経営に資する効果が期待出来る。また、一昨年策定された素形材ビジョンに謳われている「海外で設ける仕組み作り」への取り組みの活発化に対し、積極的情報提供活動として国際化の活性化に繋がると期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

[1] 素形材関連情報収集等発信事業

<1> 素形材関連情報発信事業

素形材産業の技術等調査研究報告書

<2> 素形材産業優秀技術等調査

素形材産業貢献技術調査報告書

[2] 素形材研修セミナー事業

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名称 : 財団法人 素形材センター (ザイダンホウジン ソケイザイセンター)
郵便番号 : 105-0011
住所 : 東京都港区芝公園3丁目5番8号 (機械振興会館)
代表者 : 会長 緒方 謙二郎 (オガタ ケンジロウ)
担当部署 : 総務部
担当者名 : 平野 誠一
電話番号 : 03-3434-3907
FAX : 03-3434-3698
E-mail : hirano@sokeizai.jp
URL : <http://www.sokeizai.or.jp/>